



2022 年度
事業報告書

さんむわくわく館

NPO 法人教育サポート GAA

理事長あいさつ

NPO法人教育サポートGAAは、2017年から「学校の困ったにマッタするGAA」をスローガンに個別最適な学び支援をめざして6年間活動してきました。

この間、2021年4月に日本財団が行っている「全ての子どもたちが、未来への希望を持ち、これからの社会を生き抜く力を育む機会と環境を提供する“子ども第三の居場所”事業」に応募し、7月に「さんむわくわく館」の建設に着工、翌2022年2月に「学習・生活支援モデル拠点」として開館することができました。

さんむわくわく館は、子ども一人一人のペースを大切にし、ゆったりとした中で生活できる環境づくりに力を入れています。そして、様々な課題を抱える子どもたちにきめ細やかに寄り添っています。

本館の特色のひとつにICT環境の充実があります。子どもたちは目を輝かせながら、プログラミングやeスポーツ、VR体験などに夢中に取り組んでいます。また、子どもたちが興味関心を持って臨めるイベントやWeb会議ツールを使った在宅学習支援なども行っています。

これからも地域の皆様の協力を得ながら、「ほっとできる場所を見つけたい」とか、「自分の時間を大切に過ごしたい」と思っている子どもたちの『居場所』として、よりいっそう充実させたいと思っています。

1周年にあたり、歩みを報告書にまとめましたので、ご一読いただければ幸いです。また、機会がございましたら、ぜひお立ち寄りいただき、活動の様子をご覧いただければと願っております。

NPO法人教育サポートGAA 理事長 齋藤 伸之

《 目 次 》

子ども第三の居場所事業概要	2
五つの理念	4
本年度活動の概要	5
利用者アンケート	8
まとめ	11
資料	12

子ども第三の居場所事業概要

事業概要

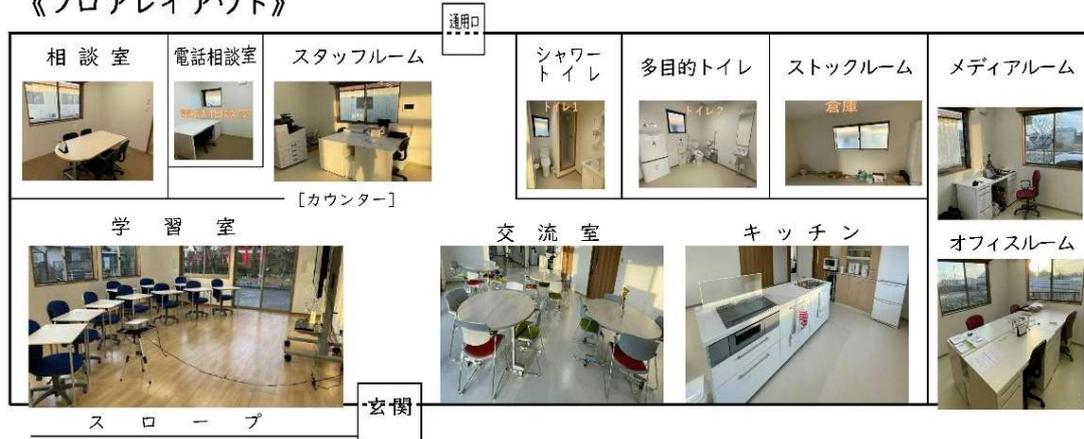
事業名	山武市における子ども第三の居場所事業
事業主体	NPO法人教育サポートGAA
協働事業体	山武市教育委員会
事業内容	子どもの学習・生活支援拠点づくり 「さんむわくわく館」の開設と運営
事業期間	2021年度 2021年7月1日～2022年3月31日（1年目） （施設建設 7/1～1/31、運営開始 2/1） 2022年度 2022年4月1日～2023年3月31日（2年目） 2023年度 2023年4月1日～2024年3月31日（3年目）
事業費	2021年度 50,710千円（開設事業49,130千円、運営事業1,580千円） 2022年度 6,900千円（運営事業） 2023年度 7,650千円（運営事業）
施設・設備	床面積 約201㎡（約60坪）

《施設》 学習室（約49.7㎡）、相談室（約9.9㎡）、電話相談室（約3.3㎡）
交流室（約48.9㎡）、キッチン（約29.0㎡）、メディアルーム（約13.3㎡）
手洗ボール付玄関（約5.0㎡）、シャワー付トイレ、多目的トイレ（約6.6㎡）、倉庫（約6.6㎡）
スタッフルーム（約15.7㎡）、オフィスルーム（約13.3㎡）、

《ICT》 パソコン(7台)、タブレット型PC(20台)、ヘッドセット(7台)、無線マウス(14台)
VRゴーグル(2台)、75型電子黒板(1台)、書画カメラ(1台)、デジタルカメラ(1台)

《設備》 ピアノ(1台)、卓球台(1台)、巡回図書(1式)、学習机(10台)、ミーティングテーブル(4台)
カウンセリングテーブル(1台)、事務机(8台)、アイランド型キッチンテーブル(1台)
オープンレンジ(1台)、炊飯器(1台)、冷蔵庫(1台)、洗濯機(1台)、掃除機(1台)
大型空気清浄機(2台)、大型サーキュレーター(2台)

《フロアレイアウト》



運 営 概 要

1 目 的

- (1) 子ども子育て支援を一元化し、どんな困難に遭遇しても、動じたり、追い詰められたりすることなく「困難を成長の糧としてたくましく成長できる力」の育成。
- (2) 行政、NPO、市民、企業等が協力して、子どもを誰一人取り残さない地域子育てコミュニティをつくり、「みんなで、みんなの子どもを育てる社会」づくり。

2 対 象 者 家庭や自身に課題を抱えた0歳～18歳までの子どもとその保護者
[定員20人、1日あたり8人程度]

3 開 館 日 週3日(月・水・木)、9:00～19:00

4 サポートチーム マネージャー 1人 [常勤] 6時間
 スタッフ 4人 [常勤] 6時間(A勤2人)、4時間(B勤2人)
 サポーター 3人 [フルツ] 3時間

5 支援プログラム

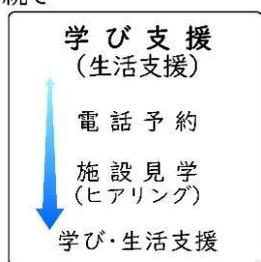
子どもとの1対1の関係を重視しながら、生活習慣の形成や学ぶ意欲の向上等について支援することによって社会的相続を補完する。

- (1) 学習・学び支援 個別最適な学び支援、教科学習支援、プログラミング、VR 等
- (2) 基本的な生活習慣 生活時間、人間関係づくり、整理整頓、体の清潔、衣類の洗濯 等
- (3) 食に関する支援 食習慣、簡単な調理、おやつ作り 等
- (4) 日本語学習支援 外国にルーツをもつ人へのサバイバル日本語学習支援、交流会 等
- (5) パーチャルアウトリーチ 遠隔会議システム(zoom)を使用した個別学習支援、リモート面談 等
- (6) 保護者相談 困っていることに手が届くスピード感のある相談支援 等

6 Daily Planning (Sample) 《開館日：月・水・木曜日》

時刻	利 用 者 (フリータイム制)	サポートチーム (シフト制)
09:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくり過ごす ・ 個別に学習する ・ 自由に遊ぶ ・ 外に出かける ・ パーチャルアウトリーチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サバイバル日本語 ・ 日本の生活様式 ・ 日本の学校生活 ・ 学習のための日本語
12:00	昼食 / 休憩 (お弁当)	
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿題や自学をやる ・ プログラミングやゲームをする ・ 工作やお絵かき、調理をする ・ 生活プランを考える 	[引継ぎ] スタッフB サポーター
15:00		
16:00		
19:00		

7 利用手続き



五つの理念

私たちは、活動の原点として“五つの理念”を常に大切にしています。

I 一人一人のペースを大切にします 《ほっとできる場所》

みんなといっしょに過ごすことも、一人でゆっくり過ごすこともできます。

II 一人一人の違いを認め尊重します 《自分で決められる場所》

週に何日、いつ来ていつ帰るか、1日をどう過ごすかなど、自由に決められます。

III 一人一人の興味・関心に寄り添います 《好きなことにチャレンジできる場所》

好きなことややりたいことに、時間とスペース（施設・設備）をたくさん使えます。

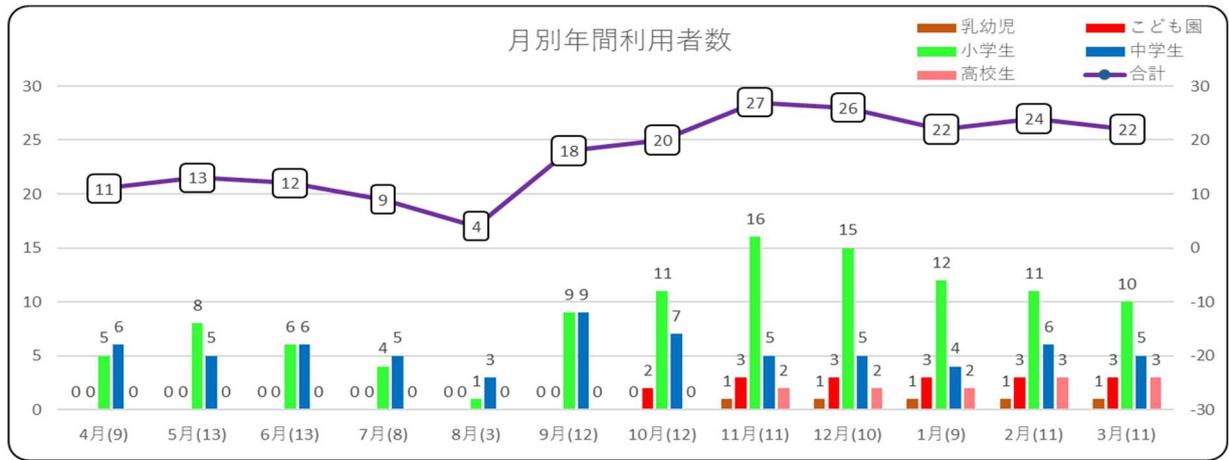
IV どうしたら実現できるか一緒に考えます 《応援してもらえる場所》

どうしたいかを見つけることからできるようになるまで、親身に応援してもらえます。

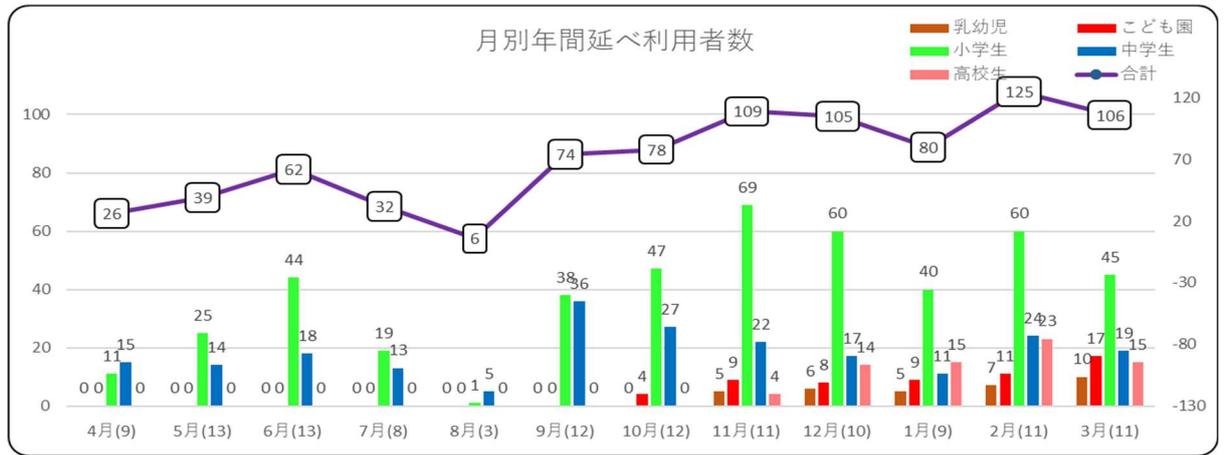
V 自分たちの力で創り出すまで見守ります 《自分達で創れる場所》

みんなでアイデアを出しあい、日々の過ごし方を自分達でプランします。

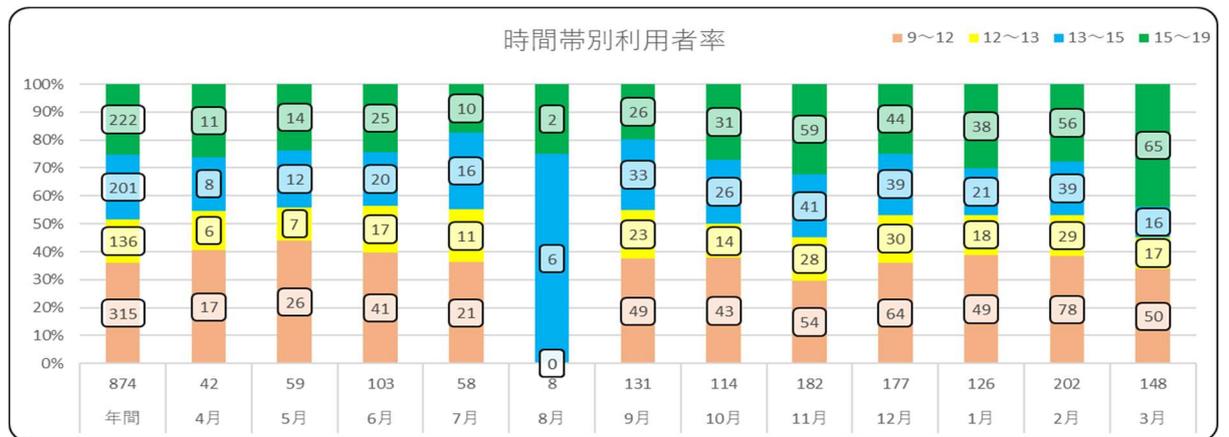
年間利用者数



[延べ利用者数]



[時間帯別利用者数]



事業費

年間予算 6,900,000 円

事業経過

◇ 2021 年度

4 月 「子ども第三の居場所」事業 計画策定
 8 月 さんむわくわく館 建設開始
 2 月 さんむわくわく館 落成、開館

◇ 2022 年度

4 月 1 期開始
 山武市校長会で事業内容を説明

7 月 1 期終了

8 月 プログラミング講座
 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 10 月に延期）

9 月 2 期開始
 「さんむわくわく館だより」第 1 号（市内全児童生徒に配布）

9 月～3 月 山武市教育委員会「日本語交流会」会場提供

10・11 月 プログラミング講座

10 月～2 月 子ども秋の学習会協力

11 月～12 月 Online ホームスタディー

12 月 書道・書初め教室

12 月 2 期終了

1 月 3 期開始

2 月 1 周年記念事業 [施設説明会・友禅体験教室]

3 月 3 期終了

利用者アンケート

開館3年目を迎えるにあたり、利用者とスタッフを対象にアンケート調査を実施しました。

《保護者アンケート》 回答率 77.3%

(集計は Google フォームによる)

□ アンケートフォーム

2. わくわく館の利用についての満足度をお答えください*

1 2 3 4

不満 ○ ○ ○ ○ 満足

3. わくわく館の利用に関して、感想をお書きください。*

回答を入力

4. 開館時間は9時から19時でよいと思いますか (意見があればその他を選びお書きください)

良い

悪い

その他: _____

5. 開館日は月曜・水曜・木曜日でよいと思いますか (意見があればその他を選びお書きください)

もっと増やしてほしい

適当である

もっと減らしてほしい

その他: _____

6. スタッフの対応についての満足度をお答えください*

1 2 3 4

不満 ○ ○ ○ ○ 満足

7. スタッフの対応に関して感想をお書きください*

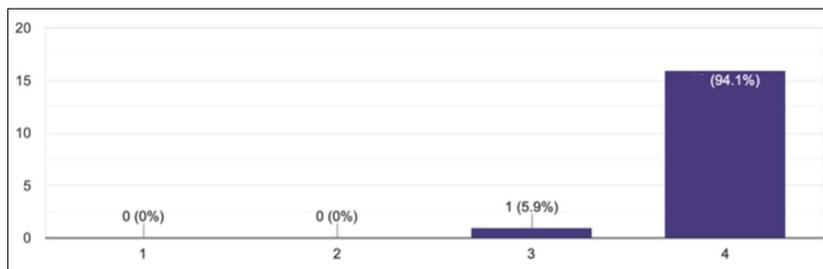
回答を入力

8. 今後行ってほしいイベントがあれば教えてください。例 プログラミング教室 友禅体験教室 等

回答を入力

送信 フォームをクリア

◇ 「さんむわくわく館についての満足度をお答えください」

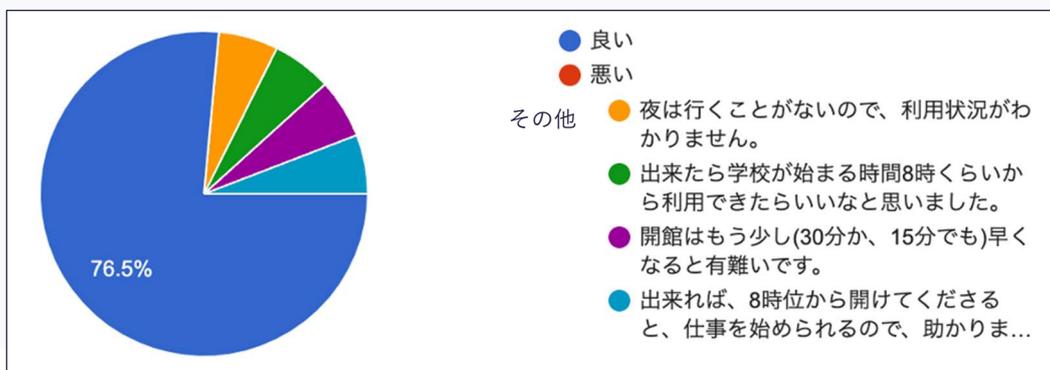


- ・ 94.1%が「満足している」と答えている。

◇ 「さんむわくわく館の利用に関して感想をお書きください」

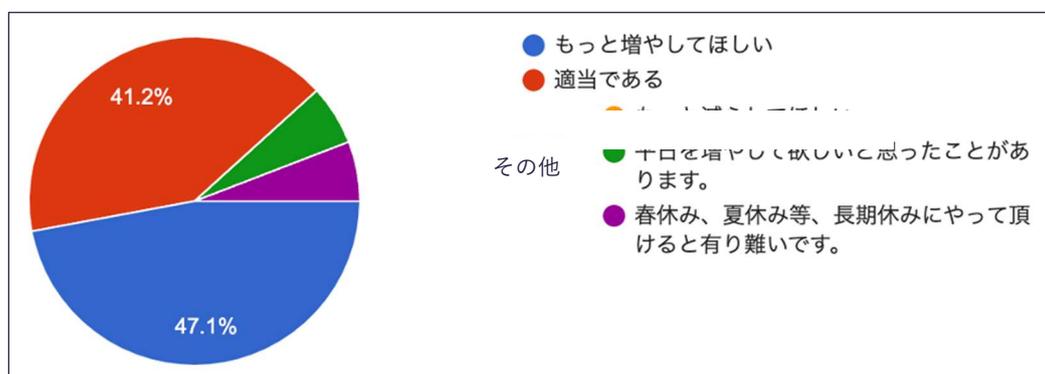
- ・行くところがあるという安心感があります。
- ・親子共に暖かく迎えてくれることがありがたかった。
- ・家にこもりがちであった子が、プログラミングや学校では出来ないことも学べ楽しそうでした。
- ・スタッフの対応はとても優しく、距離感も適切でよかった。
- ・もっとわくわく館のような場所が増えると良いと思います。
- ・乳児・未就学児を受け入れてくださってありがたかったです。
- ・個々のペースに寄り添い支援してくれることが良い。
- ・五つの理念に沿った対応が充実している。

◇ 「開館時間は9時から19時でよいと思いますか（意見があればその他を選びお書きください）」



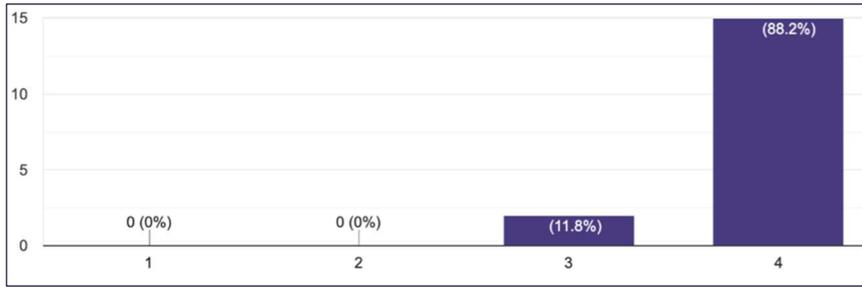
- ・76.5%が「良い」と答えている。
- ・8時か8時半ぐらいに開館してほしいとの意見があった。
保護者の出勤時刻と利用者の送迎の関係だと思われる。
- ・回答にはないが、自転車等での子どもだけによる来館を望む声もあった。

◇ 「開館日は、月・水・木曜日でよいと思いますか（意見があればその他を選びお書きください）」



- ・41.2%が「適当である」と答えている。
- ・58.8%は「開館日を増やしてほしい」と答えている。

◇「スタッフの対応についての満足度をお答えください」



- ・ 88.2%は「大変満足」している。
- ・ 感想 ……
 - ・ 丁寧で優しい対応である。
 - ・ 個々の利用者に適切な対応をしている。
 - ・ zoomで校長先生とお話できて面白かった。
 - ・ どんな時も適切な対応でありがたい。

○ 総じて肯定的な意見が多いが、声かけには更に細かな配慮が必要である。
 そのためにも、スタッフ間の情報交換をよりきめ細かにしていく必要がある。

◇「今後行ってほしいイベントがあれば教えてください」

- ・ プログラミング教室
- ・ 動画編集講座
- ・ マインクラフトプログラミング講座
- ・ 中学生のテスト対策講座
- ・ 絵画や造形教室
- ・ 料理教室や芋掘り（土に触れるような体験）、栗拾、木登り
- ・ 不登校など親（子）の会やフリースクール等ともコラボして頂けると嬉しい

《スタッフアンケート》 回答率 100%

◇「日常業務」について

- ・出勤時刻は概ね良いが、利用者がすぐ来館するので余裕がないことがある。
- ・午後の利用者に個別対応の必要な子が増えて対応が難しい。
- ・状況により午後のスタッフだけでの対応が大変な日も出てきている
- ・スタッフがゆとりを持ってない状況にある。
- ・引き継ぎが子どもに対応しながらで難しい。
- ・職務内容に応じた仕事に専念できるようにしたい。

◇「利用者との関わり」について

- ・概ね良い。
- ・スタッフよって設備の操作等に対応できない場合がある。
- ・保護者のニーズに答えられているか不安。
- ・利用者に対する理解が十分に共有できていない。
- ・スタッフ研修がもっと必要である。
- ・自力で来館する利用者が増え、所在が確認できないこともあった。

◇「職場環境」について

- ・ハートフル山武教室との調整や保護者との共通理解が必要である。
- ・適切な時間と場所を設定した情報共有が必要である。

まとめ

- 現状に大きな課題はないが、開館時間に関することやスタッフの勤務に関する、ICT機器の活用や研修に関する、保護者との連携に関する等について検討する必要がある。
- 利用者が増えてスタッフが不足しており、スタッフの負担軽減が課題である。
- スタッフの負担を軽減するには、ICT機器を活かしたOnlineによる自学支援システムの導入等が必要であり、Online学習のハードルを下げる手立てとして、マイクラフトなどを活用した導入支援システムの構築が必要である。
- 安定した運営と更なるサービス向上のためには、運用のきめ細かな見直しと新たなチャレンジが不可欠である。

資料

さんむわくわく館だより



さんむわくわく館だより

2022年 10月 第1号



開館して半年が経ちました

山武市における子ども第三の居場所 **さんむわくわく館**

山武市成東 2553-1 (原切不動院となり)

さんむわくわく館は、子どもが、一日の生活を自ら創造し、自分に合ったペースで、生き生きと過ごせる「場所」と「時間」を提供する場所です。

9月現在の登録者数は、小学生が16名、中学生が10名で、毎日5～8名ほどの利用があります。

好きな本を読んだり、タブレットPCとVRゴーグルでバーチャルワールドを楽しんだり、高校進学に向けて、自分なりのペースで勉強したりと、各自自由に活動しています。

ちょっとのぞいてみませんか。見学大歓迎です。

◇◇ さんむわくわく館 五つの理念 ◇◇

- **ほっとできる場所**
みんなといっしょに過ごすことも、一人でゆっくり過ごすこともできます。
- **自分で決められる場所**
週に何日、いつ来ていつ帰るか、一日をどう過ごすかなど自由に決められます。
- **好きなことにチャレンジできる場所**
好きなことや、やりたいことに、時間と施設・設備をたくさん使えます。
- **応援してもらえる場所**
自分がどうしたいかを見つけることから、できるようになるまで、親身に応援してもらえます。
- **自分たちで創れる場所**
みんなでアイデアを出し合い、日々の過ごし方を自分たちでプランします。

◆◆ 今後在宅での学習支援を予定しています

勉強のやり方や進め方で困ったら、ビデオ会議システム (Zoom) を使って、自宅で教えてもらうことができます。

【対象】 小学生
【内容】 宿題や好きな教科の勉強

☆ 詳しい内容については、改めてお知らせします。

【利用対象】
0歳～18歳までの子どもとその保護者 (未就学児の利用は保護者同伴)

【サポート内容】
・学び支援
・基本的な生活習慣
・食に関する学び
・日本語学習
・バーチャルアバター (リポートによる相談)
・保護者支援

【開館日時】
月・水・木曜日
9時～19時
(曜日・長期休暇は随時)

【利用料】
無料

自分のペースで 学んだり 遊んだりしながら

自分を発見できる場所

9:00
12:00
15:00
19:00

Aさん
個人学習
フリータイム
昼食
昼寝
帰宅

Bさん
プログラミング
昼食
フリータイム
帰宅

Cさん
個人学習
帰宅

Dさん
読書
ゲーム
帰宅

Eさん
空想
昼寝
帰宅

1日の過ごし方

自分のやりたい勉強をわかるまで好きなペースでやることができます。



パソコンを使ってロボットをコントロールすることができます。VRゴーグルをつけて世界中を探検することもできます。



自分がやってみたいこと (例えばピアノや絵など) もできます。



家から出たくないとき
自宅から、さんむわくわく館のスタッフや友達と話したり、勉強したりできます。



日本語の使い方に不安があるとき
日頃の生活で困らなくなるまで自分のペースで教えてもらえます。



【お問い合わせ】

Tel 0475 (53) 5976
Email gaa.wakuwakan@gmail.com
月・水・木曜日 (祝日・長期休暇は随時) 9時～19時
利用には登録・予約が必要です。
まずはご連絡ください。

さんむわくわく館は 日本財団の支援を受けて NPO法人教育サポートGAA が運営しています。
NPO法人教育サポートGAA Tel 070 (3977) 6600
Email gaa.sammu@gmail.com

さんむわくわく館だより

第2号 2023年1月11日発行
NPO法人教育サポートGAA

さんむわくわく館は、ほっとできる場所を見つけたかと思っている子どもや自分の時間を有意義に過ごしたいと思っている子どもたちの居場所です。昨年の秋口からは、未就学児童や中学卒業生の利用も始まりました。

子どもたちは、今……

さんむわくわく館の特色の一つにICT活用能力の育成があります。市内小中学校で使用されるPCを一人に1台ずつ、micro:bitやMESH等のプログラミング教材もたくさん用意しています。

子どもたちは、これらの教材を使って、自由に作曲したり、イラストを描いたり、人感チャイムや自動点灯システムなどの実用に供するレベルのプログラムを書いたりしています。これからも、誰もが気軽に利用できる「居場所」として充実させていきます。

自宅が宿題や自学をしていて、解き方が分からなくて困る子どもがいます。このような子どもに、在宅のままPCやスマートフォンアプリ (Zoom) を使ってアドバイザーによる在宅学習支援を実施しました。

今回は、全4回、木曜日の夕方、協力してくれた小学校2校の高学年児童を対象に実施しましたが、参加してくれた子どもたちからは、「分からないところを教えてもらえて助かりました」と好評でした。

《わくわくプログラミング》
ロボットやセンサーモジュールを使ったプログラミング講座を開催しました

市内小中学生を対象にロボット (mBot2) やセンサーモジュール (MESH) を使ったプログラミング講座 (全5回) を10月と11月に開催しました。

参加した子どもたちは、目を輝かせて取り組み、自分で作ったプログラムでロボットやセンサーを楽しく操作していました。

終了時アンケートでも、全員が「機会があればまた参加したい」と回答するなど、とても好評でした。

現在、学校へのお出前講座や機器の貸し出し、教職員向け講習会の開催などについても検討しています。

【プログラミング教育とは】
「プログラミングの思考」を育み、「コンピューター等を上手に活用して身近な問題を解決したり、より良い社会を築いたりしようとする態度を育むこと」をねらいとしています。
(「小学生プログラミング教育実施ガイド」より)

《わくわくホームワーク》
在宅での学習支援を試しました



外国ルーツの子どもたちに日本語学習の支援をしています

山武市では、最近毎月のように外国にルーツをもつ子どもの転入が続いています。GAAでは、そんな子どもたちの不安を少しでも減らしたいと日本語の学習や教科学習の支援をしています。

昨年9月からは、山武市教育委員会が、城西国際大学や千葉大学と進めている日本語教室の会場として、さんむわくわく館を提供するなどしています。

一人一人のスキルとペースを大切にしながら、子どもたちの日本語力が日に日に高まり、共に学べる楽しさや喜びを感じています。

さんむわくわく館 五つの理念

- ◇ **ほっとできる場所**
みんなと過ごすことも、一人でゆっくり過ごすこともできます。
- ◇ **自分で決められる場所**
週に何日、いつ来ていつ帰るか、どう過ごすかなど自由に決められます。
- ◇ **チャレンジできる場所**
好きなことややりたいことに時間と場所、施設・設備を使えます。
- ◇ **応援してもらえる場所**
自分がどうしたいかを見つけることから、できるようになるまで、親身に応援してもらえます。
- ◇ **自分たちで創れる場所**
みんなでアイデアを出し合い、日々の過ごし方を自分たちでプランできます。

サポート内容

- ・学習(学び)支援
- ・基本的な生活支援
- ・食に関する学び
- ・日本語学習支援
- ・保護者相談支援
- ・バーチャルアバター
- ・リポートによる相談
- ・保護者相談支援

開館日時
月・水・木曜日
9時～19時

※祝日・年末年始
夏・冬・長期休暇
を除く

利用対象
0～18歳までの子どもとその保護者
※未就学児は保護者同伴

《お問い合わせ》

さんむわくわく館
0475 (53) 5976
(月・水・木曜日 9時～19時)
山武市成東 2553-1 (原切不動院)
Email gaa.wakuwakan@gmail.com



Supported by THE RIPPON FOUNDATION さんむわくわく館は日本財団の
協成を受けて活動しています

プログラミング講座

- ◇ねらい 簡単なプログラムを作成し、ロボットを思い通りに動かす。
- ◇日時 10月16・23・30日（日）13:00～15:50
- ◇参加者 16日7名、23日5名、30日10名
- ◇状況
 - ・参加した児童生徒は、大変熱心に目を輝かせて取り組んでいた。
 - ・質問も活発でわからないところは進んで質問していた。
 - ・構想に従ってプログラミングし、ロボットを自在に動かしていた。
 - ・プログラミングを通して判断力や表現力を高めることができた。



Online ホームスタディ

- ◇ねらい WEB 会議システムを使って家庭学習を支援する。
- ◇日時 11月24日、12月1・8・12・15日 17:00～18:30
- ◇参加者 日向・睦岡小学校5・6学年、平均6名
- ◇状況
 - ・事前に参加校に赴いてWEB 会議システム講習を実施した。
 - ・参加者の反応はよく、意欲的に参加していた。
 - ・保護者不在時の家庭の見守りとしても機能した。
 - ・ギガパソコンを家庭に持ち帰っての活用につながった。
- ◇感想
 - ・同じような機会があればぜひ参加したい。
 - ・質問している時間以外でも、見守ってくれているという安心感があってありがたかった。

書道・書き初め教室

- ◇ねらい 書初めの基礎を体験し、納得のいく作品を仕上げる
- ◇日時 12月28日 9:00～11:30
- ◇参加者 6名
- ◇状況
 - ・終始和やかに練習し、落ち着いて作品を仕上げている。
- ◇感想
 - ・苦手な書初めを少人数で教えてもらえてとても助かった。



日本語交流会への協力

- ◇ねらい 外国にルーツを持つ児童生徒の日本語の習得を支援する。
(山武市教育委員会・城西国際大学共催)
- ◇日時 9月～2月(月1回、計6回) 17:30～18:45
- ◇参加者 約30人(市内小・中学校在学スリランカ出身者)
- ◇状況
 - ・日本語交流(学習)会の会場として交流室を開放した。
 - ・楽しくゲームに参加し、日本語にも親しめていた。
 - ・たくさんの視察があった。
 (千葉県警察山武警察署員、千葉大学・アムステルダム大学教員 他)



Ⅰ周年記念事業 [施設説明会・友禅体験教室]

- ◇ねらい さんむわくわく館の事業を地域住民（下町区民）に周知する。
- ◇日 時 3月5日 13:00～16:00
- ◇参加者 見学会 31名、体験教室 20名
- ◇状 況 さんむわくわく館の目的や活動について理解していただくことができ、
温かい励ましの言葉もいただいた。



運 営 ス タ ッ フ

- ◇ マネージャー
戸村恒夫
- ◇ スタッフ
前田恭弘、鵜澤洋子、小川洋子、杉崎恵子、紀 淳子
- ◇ サポーター
齋藤伸之、石井由美子、鵜澤政仁、井上敦子



さんむわくわく館

Tel : 0475 (53) 5976

Address : 千葉県山武市成東 2553-1

Mail: gaa.wakuwakan@gmail.com

Hp : <https://gaawakuwakan.wixsite.com/my-site-1>

NPO 法人教育サポート GAA

Tel : 070 (3977) 6600

Address : 千葉県山武市成東 2553-1

Mail: gaa.sammu@gmail.com

Hp : <https://gaasammu.wixsite.com/mysite>